



## DNW-22022 の概要

課題名：増悪因子間の相互作用を標的とした新規肉腫治療薬コンセプトの検証

主任研究者 (Principal Investigator) :

山田 大祐 (国立大学法人岡山大学学術研究院医歯薬学域)

ステージ：標的検証前期

### 【標的疾患】

悪性腫瘍

### 【創薬標的】

タンパク質 X とタンパク質 Y の相互作用

### 【創薬コンセプト】

腫瘍組織で高発現しているタンパク質 X とタンパク質 Y の相互作用を標的とすることで、副作用の生じる可能性が低い新規治療薬

### 【モダリティの設定】

低分子化合物

### 【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) タンパク質 X 及びタンパク質 Y の発現量と悪性腫瘍患者の予後に相関がある。
- 2) 腫瘍細胞株においてタンパク質 X を抑制することにより、造腫瘍性が抑制される。
- 3) タンパク質 X とタンパク質 Y の相互作用は直接的である。

### 【支援ステージにおける目標】

タンパク質 X とタンパク質 Y の相互作用の機能的役割を解明する。

### 【関連特許】

無し

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。